

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2007年1月1日 ~ 2021年10月31日の間に、多発性嚢胞腎（ADPKD）による腎不全のために虎の門病院分院腎センターで外来または入院で診療されて、血圧脈波検査（PWV/ABI）を受けた30歳から60歳までの患者さんです。
除外基準：血圧脈波検査（PWV/ABI）を受けた時点で透析されていた方は除外しています。

【研究課題名】

常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）患者における Pulse Wave Velocity (PWV) 値と疾患進行速度についての研究

【研究の目的・背景】

《目的》

PWV 値が ADPKD の疾患進行速度に影響する独立した因子であるかを明確にすること

《研究に至る背景》

常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）は最多の遺伝性腎疾患であり、本邦の人工透析患者のうち、約1万人がADPKD患者です。多様性のある疾患ですが、一般的な経過では、60歳までに多くのADPKD患者が末期腎不全に至るとされています。腎機能の低下とともに腎腫大が進行し、しかも腎不全の進行とともに加速度的に腎容積が増大することが知られています。

疾患の進行に影響する因子として、遺伝子、家族歴、高血圧、尿路感染、などが報告されていますが、未だに分からないことが沢山あります。遺伝疾患ですが、同じ遺伝子を持っていても疾患の進行速度がかなり異なることがあることが分かってきており、血圧などの環境因子の重要性が改めて認識されています。我々は、高血圧などによる動脈硬化がADPKDの疾患の進行を促進しているのではないかと考え、この研究を計画しました。今までPWV値とADPKDの疾患進行速度との関係を明らかにした研究は存在しません。この研究により、腎嚢胞内出血という全く新しい要素がADPKDの進行に影響しているかが判明し、新しい治療法や予防法につながると考えられます。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2021年11月9日 ～ 2028年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院分院単独

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院腎センター、保管責任者 諏訪部達也のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

CT・MRI データ、血液検査データ、生理検査データ、診療記録、薬歴、看護記録

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院腎センター 諏訪部達也

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 諏訪部達也

〒213-8587 神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1

電話 044-877-5111(代表)

研究の対象となる方又はその代理人様からのご質問、ご要望をお受け致します。